

〔No. 1〕～〔No. 20〕は、著作権保護のため、非公表となっています（択一式）。
土木の問題と共通のため、土木の例題をご覧ください。

〔No. 21〕 日本庭園に関する次の記述のA，Bに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

水を用いず、石や砂で広大な自然景観を象徴的に表現する〔A〕は、日本庭園における様式の一つであり、代表的な庭園として〔B〕がある。

- | A | B |
|-----------|----------|
| 1. 浄土式庭園 | 桂離宮 |
| 2. 枯山水式庭園 | 大徳寺大仙院庭園 |
| 3. 枯山水式庭園 | 無鄰庵庭園 |
| 4. 浄土式庭園 | 醍醐寺三宝院庭園 |
| 5. 枯山水式庭園 | 兼六園 |

〔No. 22〕 次の庭園の名称とその作者の組合せのうち妥当でないのはどれか。

- | 庭園 | 作者 |
|-------------|---------------|
| 1. 西芳寺庭園 | 夢窓疎石 |
| 2. ヴェルサイユ宮苑 | ル・ノートル |
| 3. 旧古河庭園 | 小堀遠州 |
| 4. セントラルパーク | F. L. オルムステッド |
| 5. 平安神宮神苑 | 小川治兵衛 |

[No. 23] 都市公園に関する次の記述のA, Bに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

都市公園のうち、公園の標準規模は2ヘクタールである。また、広域公園の標準規模は、おおむねヘクタール以上である。

| | A | B |
|-------|----|----|
| 1. 総合 | | 50 |
| 2. 近隣 | | 50 |
| 3. 総合 | 10 | |
| 4. 近隣 | 10 | |
| 5. 街区 | 10 | |

[No. 24] 都市公園法に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 都市公園内で催事を行うため公園施設以外の仮設工作物を設けるときは、公園管理者の許可が必要である。
2. 公園施設とは、都市公園の効用を全うするため都市公園に設けられる施設である。
3. 都市公園に公園施設を設けることや公園を管理することができるのは、地方公共団体だけである。
4. 仮設工作物を都市公園内に設置する許可を受けた者は、原則として、許可期間が満了したときには、ただちに原状に回復しなければならない。
5. 動物園、野球場、売店は、いずれも都市公園に設けられる公園施設である。

[No. 25] 都市公園に運動施設を設ける場合の法令上の制限に関する次の記述のうち
妥当なのはどれか。

1. 運動施設は、敷地面積が2ヘクタール以下の都市公園に設けてはならない。
2. 運動施設は、総合公園より大きな都市公園でなければ設けてはならない。
3. ラグビー場は、敷地面積が10ヘクタール以上の都市公園でなければ設けてはならない。
4. 一つの都市公園に設ける運動施設の敷地面積の総計は、都市公園全体の敷地面積の100分の50をこえてはならない。
5. 運動施設を都市公園の地下に設けてはならない。

[No. 26] 造園樹木に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. ソメイヨシノは、浅根性の落葉広葉樹である。
2. メタセコイヤは、深根性の常緑針葉樹である。
3. キンモクセイは、浅根性の常緑広葉樹である。
4. ラクウショウは、深根性の落葉針葉樹である。
5. クスノキは、深根性の常緑広葉樹である。

〔No. 27〕 植栽設計に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 生垣をつくるため、カイヅカイブキ、サザンカ、ヒイラギモクセイを選んだ。
2. シンボルツリーとして、株立のヤマボウシを選んだ。
3. 花を楽しむ樹木として、サルスベリ、ムクゲ、キリシマツツジを選んだ。
4. 街路樹の並木景観を形成するため、ハイビヤクシンを選んだ。
5. トピアリーをつくるため、イチイを選んだ。

〔No. 28〕 花壇に用いられる草花について、花色、宿根草、球根、一年草の組合せとして妥当でないのはどれか。

| | 花色 | 宿根草 | 球根 | 一年草 |
|----|----|--------|--------|-------|
| 1. | 黄色 | ルドベキア | スイセン | パンジー |
| 2. | 青色 | アガパンサス | ハナニラ | ルピナス |
| 3. | 赤色 | バーベナ | チューリップ | スイトピー |
| 4. | 白色 | ギボウシ | カラー | カスミソウ |
| 5. | 紫色 | シラン | ムスカリ | ストック |

[No. 29] 植栽土壌の改良に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 保水性を改良するため、真珠岩系パーライトを使用した。
2. 養分不足を解消するため、牛糞堆肥を使用した。
3. 排水不良を改良するため、火山砂利を使用した。
4. 透水性を改良するため、黒曜石系パーライトを使用した。
5. pHの不良を改良するため、バーク堆肥を使用した。

[No. 30] 石材に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

小舗石は、1辺 mm程度の立方体に近い形で加工された石材で、強硬、耐久性のある 等が用いられ、主に として用いられる。

| | A | B | C |
|----|---------|------|-------|
| 1. | 80～100 | 花こう岩 | 舗装や縁石 |
| 2. | 200～250 | 花こう岩 | 舗装や縁石 |
| 3. | 80～100 | 凝灰岩 | 石積や庭石 |
| 4. | 200～250 | 花こう岩 | 石積や庭石 |
| 5. | 80～100 | 凝灰岩 | 舗装や縁石 |

[No. 31] 樹木の植付けに関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 植穴は、根鉢寸法に余裕をもって掘り、植穴の底は土を細かく砕いて柔らかくし、中央をやや高めに仕上げる。
2. 水極めは、一般に広く用いられ、鉢の周囲に埋め戻し土が密着するように、水を注ぎつつ棒で突きながら植え込む。
3. 遅効性肥料を元肥として使用する場合、直接根に接するように行う。
4. 幹巻きは、冬季の寒さによる霜割れ防止や夏の直射日光による日焼け防止を目的として行う。
5. バーク堆肥等の土壌改良材は、客土あるいは埋め戻し土と十分に混ぜ合わせて使用する。

[No. 32] 支柱に関する次の記述のA、Bに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

樹高 $H=3.5\text{m}$ 、幹周 $C=0.15\text{m}$ 、枝張 $W=1.8\text{m}$ の高木を街路樹として歩道に植栽する際、その支柱として を用い、支柱の丸太は末口を にして使用した。

- | A | B |
|------------|---|
| 1. 二脚鳥居型支柱 | 上 |
| 2. 添え柱支柱 | 上 |
| 3. 二脚鳥居型支柱 | 下 |
| 4. 添え柱支柱 | 下 |
| 5. 八ツ掛支柱 | 下 |

[No. 33] 遊具に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. すべり台滑降部の傾斜角度を、水平に対して最大 40 度以下、平均で 35 度とした。
2. サンドピット型砂場を設置する際、雨水の排水を速やかにするため、底部にぐり石・砕石等を敷きならした。
3. 鉄棒の握り棒の太さを 3 cm とした。
4. シーソーの腕部の最大傾斜角を水平に対して 20 度以下とした。
5. 「ぶらんこ」において、落下時の衝撃を抑えるため、着座部底面の最下点から着地点までの間隔を 20 cm とした。

[No. 34] アスファルト舗装の断面構造を下部から順番に並べたものとして妥当なのはどれか。

- | | 下部 | | | 上部 | | | |
|----|----|---|----|----|----|---|----|
| 1. | 路盤 | ⇒ | 路床 | ⇒ | 基層 | ⇒ | 表層 |
| 2. | 路床 | ⇒ | 路盤 | ⇒ | 基層 | ⇒ | 表層 |
| 3. | 基層 | ⇒ | 路盤 | ⇒ | 路床 | ⇒ | 表層 |
| 4. | 基層 | ⇒ | 路床 | ⇒ | 路盤 | ⇒ | 表層 |
| 5. | 路床 | ⇒ | 基層 | ⇒ | 路盤 | ⇒ | 表層 |

[No. 35] 硬式テニスコートに関する次の記述のA、Bに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

硬式テニスコートの方位は、長軸方向をおおむね にとることを基準とし、コート寸法の計測は、ラインの で行う。

- | | A | B |
|----|----|----|
| 1. | 南北 | 中心 |
| 2. | 東西 | 内側 |
| 3. | 東西 | 外側 |
| 4. | 南北 | 外側 |
| 5. | 南北 | 内側 |

[No. 36] 造園樹木の剪定・刈込みの目的に関する次の記述のうち 妥当でない のはどれか。

1. 樹木の剪定・刈り込みは、景観維持、防風、防音など複数の目的を兼ねて行う場合が多い。
2. 剪定は、徒長枝、逆さ枝を間引くことで、通風や採光を改善し、花付きを良くしたり、新しい枝を発生させることなどを目的として行う。
3. 葉を觀賞する樹木及び生垣などを一定の形に保ちたいときに、葉や樹冠を刈り揃えることを刈込みという。刈込みは樹木の表面の枝葉を密にし、樹形の美しさを強調することができる。
4. 夏季剪定の時期には土用芽が発生しやすいが、樹形の骨格をつくるような剪定を行うのに適した時期である。
5. 花木類の花芽分化期の多くは7月から8月に集中しているので、遅くとも6月中に剪定・刈込みを終わらせるようにするとよい。

[No. 37] 次の記述の病状を示す樹木の病名として妥当なのはどれか。

枝の一方からの分岐が異常に多くなり、鳥の巣状あるいはほうき状になる。

1. てんぐ巣病
2. もち病
3. こうやく病
4. うどん粉病
5. がんしゅ病

[No. 38] 植物の施肥に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 肥料の成分としては、窒素・リン酸・カリが代表的なものであり、肥料の三要素といわれる。
2. 堆肥など有機質肥料は、土の性質を改良する働きがある。
3. 冬季において、植物の生育が止まっている間に施す肥料のことを寒肥という。
4. 開花により消耗した樹勢を回復させるために、開花後に施す肥料のことをお礼肥という。
5. 樹木の幹の根元から放射状に溝を掘って、肥料を施す方法のことを輪肥という。

[No. 39] 雑草の防除方法に関する次の記述のA、Bに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

雑草の防除方法には、人の手や機械を用いて雑草を抜き取る、あるいは刈り取る物理的防除法や、除草剤を用いて防除するA防除法などがある。

なお、A防除法には、浸透移行型除草剤やB除草剤があり、B除草剤には、広葉雑草に有効なものやイネ科雑草に有効なものなどがある。

- | A | B |
|--------|------|
| 1. 生態的 | 選択性 |
| 2. 化学的 | 選択性 |
| 3. 実用的 | 土壌処理 |
| 4. 化学的 | 生態性 |
| 5. 生態的 | 散布型 |

[No. 40] 芝生の管理に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 刈込みは、美観を保持することや採光を良くすること、雑草や病害虫を防除することなどを目的に行う。
2. 目土かけは、芝草の成長期か萌芽期に行うとよい。
3. エアレーションは、土壌の通気を図って地下茎や根の呼吸を助け、芝生の再生を図るために行う。
4. かん水は、芝生の生育を良好に保つために行う作業であり、日中の高温時に行うのが最もよい。
5. 施肥は、芝生の生育を促進し、病害虫に対する抵抗力を高め、土壌改良と地力の維持を図るために行う。

〔No. 1〕～〔No. 20〕は、著作権保護のため、非公表となっています（択一式）。
土木の問題と共通のため、土木の例題をご覧ください。

〔No. 21〕 日本庭園に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 岡山後楽園は、江戸時代に作庭された。
2. 無鄰菴庭園は、明治時代に作庭された。
3. 龍安寺庭園は、枯山水の代表的な庭園である。
4. 安土・桃山時代に、千利休らによって露地がつくられた。
5. 平等院庭園は、池泉回遊式の代表的な庭園である。

〔No. 22〕 都市公園に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 街区公園は、主に街区内の居住者が利用することを目的としており、誘致距離は250mの範囲内、面積は0.25haを標準とする。
2. 近隣公園は、主に近隣の居住者が利用することを目的としており、誘致距離は500mの範囲内、面積は1haを標準とする。
3. 地区公園は、主に徒歩圏内の居住者が利用することを目的としており、誘致距離は1kmの範囲内、面積は4haを標準とする。
4. 総合公園は、都市住民全般の休息、散歩、遊戯、運動など総合的に利用することを目的としており、面積は10～50haを標準とする。
5. 運動公園は、都市住民全般の主として運動のために利用することを目的としており、面積は15～75haを標準とする。

[No. 23] 都市公園法に定める都市公園施設に関する次の記述のA, Bに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

都市公園法に規定する公園施設のうち、施設の一つとしてがある。

| A | B |
|-------|--------|
| 1. 休養 | 集会所 |
| 2. 遊戯 | 野球場 |
| 3. 教養 | 風力発電施設 |
| 4. 修景 | 花壇 |
| 5. 管理 | 便所 |

[No. 24] 公園における運動施設に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. テニスコートの周辺に、防風などの目的で植栽を設けることが望ましい。
2. 陸上競技場のトラック、フィールドの短軸方向は、南北に設定することが望ましい。
3. 野球場の方位は、競技者を主とする場合は本塁を北の方向にし、観客を主とする場合は本塁を南の方向にすることが望ましい。
4. 常に同じ方向に吹く風が、ラグビー場のフィールドの長軸方向と直交することが望ましい。
5. サッカー場のメインスタンドは、フィールドの西側にとることが望ましい。

[No. 25] 植物の配植に関する次の記述のA, Bに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

整形式植栽は、を植栽する方法で、均整のとれた、力強い美しさが表現できる。

| A | B |
|-------------------|---------|
| 1. 同種, 同形の樹木 | ランダムに |
| 2. 多くの樹種や樹形が異なる樹木 | 一定のリズムで |
| 3. 同種, 樹形が異なる樹木 | ランダムに |
| 4. 同種, 同形の樹木 | 一定のリズムで |
| 5. 多くの樹種や樹形が異なる樹木 | ランダムに |

[No. 26] 次の記述が示す用語として妥当なのはどれか。

注目されやすい園路の突き当たりや、狭く暗い所から明るい方を見たりする場所など、目につきやすい所に見ごたえのある添景物を置くことにより視覚的に安定させること。

1. テクスチャー
2. ビスタ
3. フレーム
4. スカイライン
5. アイストップ

〔No. 27〕 芝生の造成に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 日本芝は西洋芝に比べて土壌に対する適応性が大きく、やせた土壌でも造成できる。
2. 日照不足が懸念される場所であったため、日本芝を植栽した。
3. 年中緑色である必要があるため、秋期に暖地型芝草の上から寒地型の芝草種子を播種して冬期も緑の芝生を維持する方法であるオーバーシーディングを行った。
4. 踏圧が懸念される場所であったため、日本芝を植栽した。
5. 短期間で芝生を造成する必要があるため、日本芝をべた張りで植栽した。

〔No. 28〕 造園樹木の剪定に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 枝抜き（枝透かし）は、込み過ぎた枝や枯れ枝を根元から切り除き、適度に樹冠を透かして、通風・採光をよくし病虫害や枯れを防ぐために行う剪定方法である。
2. 切り詰めは、新梢の先端を摘み取り、枝の伸長を抑制したり、枝数を増やすために行う剪定方法である。
3. 枝おろしは、樹木の大枝を幹の付け根からのこぎりで切り落とす剪定方法である。
4. 切返しは、枝の分岐点において古い枝を付け根から切り取ることにより、樹冠を小さくする場合や、枝の若返りを図る場合などに行う剪定方法である。
5. 刈込みは、生垣や玉物の樹冠全体を刈込みばさみやトリマーを用いて均一に刈り込む剪定方法である。

[No. 29] 次の記述の病状を示す樹木の病名として妥当なのはどれか。

葉の表面が白い粉をまいたようにカビで覆われる。

1. 白紋羽病
2. うどんこ病
3. てんぐ巣病
4. こうやく病
5. さび病

[No. 30] 次の記述の加害特徴を示す害虫として妥当なのはどれか。

ツバキ類，サザンカなどに時々異常に発生し，葉を食いつくすことがある。毒毛をもつ不快害虫でもあり，人体への二次被害に注意する必要がある。

1. カイガラムシ
2. アブラムシ
3. カミキリムシ
4. チャドクガ
5. キクイムシ

[No. 31] 植物に必要な肥料に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

A 肥料は花や果実，種子を育てる肥料で「実肥」， B 肥料は根を育てる肥料で「根肥」， C 肥料は茎や葉を育てる肥料で「葉肥」と，それぞれ呼ぶことがあり，これらを肥料の三要素という。

| | A | B | C |
|----|-----|-----|-----|
| 1. | カリ | 窒素 | リン酸 |
| 2. | リン酸 | カリ | 窒素 |
| 3. | リン酸 | 窒素 | カリ |
| 4. | カリ | リン酸 | 窒素 |
| 5. | 窒素 | カリ | リン酸 |

[No. 32] 秋に剪定すると翌年の開花に大きな支障を及ぼす植物として妥当なのはどれか。

1. キョウチクトウ
2. アジサイ
3. アベリア
4. キンモクセイ
5. サルスベリ

[No. 33] 次の記述の肥料の種類として妥当なのはどれか。

冬期において植物の生育が止まっている間に施す肥料で、遅効性の肥料が用いられる。

1. 追肥
2. お礼肥
3. 基肥
4. 寒肥
5. 芽出し肥

[No. 34] 公共用緑化樹木の規格や定義に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 樹高とは、樹冠の頂端から根鉢の上端までの垂直高をいい、一部の突出した枝は含まれない。
2. 幹周は、地上から1.5m上りの位置を測定する。
3. 幹が2本以上の樹木の幹周は、おのおのの周長の総和の70%をもって幹周とする。
4. 株立数とは、株立（物）の根元近くから分岐している幹（枝）の数をいう。
5. 枝張（葉張）とは、樹木等の四方面に伸長した枝（葉）の幅をいう。

[No. 35] 造園樹木の陰樹（日陰を好んで生育する樹木）として妥当でないのはどれか。

1. アオキ
2. カクレミノ
3. キョウチクトウ
4. ナンテン
5. ヤツデ

[No. 36] 石材に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

間地石とは、面が方形で控えが 落ち、面に直角に測定した控えの長さが面の最小辺の 倍以上あるものをいう。主に に使用する。

- | | A | B | C |
|----|----|-----|-----|
| 1. | 三方 | 1.5 | 縁石 |
| 2. | 四方 | 3.0 | 石積み |
| 3. | 三方 | 3.0 | 縁石 |
| 4. | 四方 | 1.5 | 石積み |
| 5. | 三方 | 1.5 | 石積み |

[No. 37] 根回しの方法に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

根回しとは、一般に移植が 樹木を移植する場合に行う処理である。根回しのうち、溝掘式は、幹の根元直径の 倍を鉢径として樹木の周囲を掘り込む方法であり、断根式は、比較的 で直根のない樹種に行う方法である。

| A | B | C |
|--------|-------|-----|
| 1. 容易な | 2～4 倍 | 深根性 |
| 2. 困難な | 2～4 倍 | 深根性 |
| 3. 容易な | 3～5 倍 | 深根性 |
| 4. 困難な | 3～5 倍 | 浅根性 |
| 5. 容易な | 3～5 倍 | 浅根性 |

[No. 38] 土粒子が小さい順に並べた組合せとして、妥当なのはどれか。

| 小さい | | | 大きい | | | |
|--------|---|-----|-----|----|---|-----|
| 1. 粘土 | ⇒ | シルト | ⇒ | 砂 | ⇒ | 礫 |
| 2. 粘土 | ⇒ | 砂 | ⇒ | 礫 | ⇒ | シルト |
| 3. 砂 | ⇒ | 粘土 | ⇒ | 礫 | ⇒ | シルト |
| 4. シルト | ⇒ | 礫 | ⇒ | 粘土 | ⇒ | 砂 |
| 5. シルト | ⇒ | 礫 | ⇒ | 砂 | ⇒ | 粘土 |

[No. 39] 建設機械の作業種別と適応機種に関する次の組合せのうち妥当でないのはどれか。

| 作業種別 | 適応機種 |
|-----------|-----------------------|
| 1. 掘削 | バックホウ，トラクタショベル，ブルドーザ |
| 2. 運搬 | ブルドーザ，ダンプトラック，ベルトコンベヤ |
| 3. 敷均し，整地 | ブルドーザ，モータグレーダ |
| 4. 締固め | タイヤローラ，振動ローラ，タンパ |
| 5. 削岩 | ラフテレーンクレーン，トラッククレーン |

[No. 40] 石積工に関する次の記述のうち妥当でないのはどれか。

1. 空積は，裏込めコンクリートを使わず，割栗石，目潰し砂利を裏込め材として積み上げる方法をいう。
2. 練積は，裏込めにコンクリートを使って積石を一体化したものをいう。
3. 雑割石は，割石の中で寸法がさほどそろっていないものをいい，これによって積まれたものを雑割石積という。
4. 野面石積は，玉石を用いた石積をいい，均質な石材を使用した伝統的な積み方である。
5. 切石積は直方体の切石を用いた石積で，積方により整層切石積と乱層切石積（不整層切石積）の2種類がある。

令和3年度は、受験者なしのため、実施していません。